

中村会計だより

2011年 新年号

発行：1月1日（土）

編集：広報委員会



新年のご挨拶

心構えの原点（基本）に立ち返り、経営に励みましょう！



所長 中村利明

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、お客様、皆様には我々中村会計事務所にひとかたならぬご厚情をいただきありがとうございました。本年も相変わらぬお付き合いを賜りますようお願い申し上げます。

さて2008年の秋、リーマンショックに端を発した世界金融危機で経済は急激に落ち込みました。ただ懸念されていた1929年（昭和4年）の世界大恐慌のような大破局には至らなかったことは救いでした。

今回の不況も上場企業では一昨年3月に底を打ち、「昨年4月からは4割が経常利益を前年同期よりも増加させております。又、その伸び率はリーマンショック以前よりも早い」と日本経済新聞に載りました。

国税庁の統計によれば平成21年度の法人件数262万社の内75%が赤字と発表がありました。浜松を中心とした県西部の中小企業を取り巻く経済環境は、一部に明るさはみえるものの未だ厳しく予断を許さない状況にあるといえます。

今回不況に突入して2年が経過しました。この不況から我々は大切なものを学びました。

それは「心構えの原点（基本）に立ち返り、経営に励むことが重要だ」ということです。

基本（原点）とは当たり前のことを当たり前にやることだと教えられました。次の3名の方の書籍・講演から取り上げてみます。

- 1 夫婦仲良く（力を合わせて人生を共に生きる）… 野口誠一（八起会会長講演より）
- 2 ダム経営（人生でダムを築く）… 松下幸之助 … 経営者の条件（PHP研究所）
- 3 トイレ清掃（環境整備を図る）… 植村花菜 … トイレの神様（宝島社）



1 夫婦仲良く（力を合わせて人生を共に生きる）

国税庁の統計によると、平成 21 年度の法人申告件数は、262 万社と言われますが、その内 90%弱が従業員 9 名以下の中小企業なのです。

「八起会」の野口誠一会長によると、倒産した会社の倒産理由の第一が「夫婦仲が悪い」でした。妻が家業以外の仕事に従事していて協力しないのです。

夫婦は喧嘩をします。それは目的が一緒だからなのです。20代30代は子育て、財産形成、40代50代で会社の創業と組織作り、60代からは老後の生活と。喧嘩はします。しかしそれを翌日に残さないことが肝腎です。それにより1+1が3にも4にも成るのです。

2 ダム経営（人生のダムを築く）

不況の時は松下幸之助翁の書物が良く読まれるといます。

指導者はあらゆる面で「ダム経営を心がけることが大切である」と言われます。

米沢藩の上杉鷹山は天明の浅間山の噴火による奥羽地方の未曾有の大飢饉に際しても、救荒米の備蓄につとめた為、事なく切り抜けることが出来ました。

ダム経営とは、資金のダムだけではなく、設備のダム…90%の稼働率でも適正な採算が採れるようにして、又、指導者は自分の心のうちに心のダム…心の余裕ゆとりを持つことが大切とも言われました。

3 トイレの神様（環境整備を図る）

植村花菜さんは、祖母の和嘉わかさんの「トイレには神様がいて、いつも綺麗に清掃すると、べっぴんになれる」という言葉に、人の嫌がることでも自ら率先して実践することで表情が美しくなることを感じ取ったといます。祖母の言葉を信じて一所懸命にトイレ清掃を実践し、素直に成長したご褒美が曲の大ヒット、紅白出場へとつながったのです。

かくいう私も月曜日朝7時に出社してテナントさんが使って下さっている2・3階のトイレ4ヶ所の清掃を欠かさず続けています。（全員で毎朝8時15分から15分間建物と道路の清掃はするのです。）

トイレ清掃は「汚れた所を綺麗にする行為を通して、自分の心を磨き浄化する」という意義があり、トイレは聖地とも教わりました。

これからもトイレ清掃に心を注ぎ自分の心を磨くとともに、トイレの女神様にも喜んでもらいます。

皆様にとりまして、この一年が景気回復のよいお年となりますよう

希望を持って、力いっぱい、精いっぱい頑張りぬきましょう！

中村会計事務所、我々も応援していきます。

